

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』27号発行

2020年3月発行(年1回発行) B5版/138頁/1,000円(税込) 送料実費

虎屋文庫では、和菓子をテーマとした展示の開催、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行っております。3月に機関誌『和菓子』27号を発行しましたので、概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

和菓子に関連する論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1年に1回、発行しております。毎号「菓子とまじない、占い」「羊羹」「地域資料に見る菓子」など、特集を設けています。

巻頭言

茶の菓子考—王朝文学をテーマにして—

筒井 紘一(茶道資料館顧問)

特集 近世菓子見本帳

菓子見本帳(以下、見本帳)は、上菓子(白砂糖を使った上等な菓子)の絵図と銘などが記された帳面です。多くは菓子屋が顧客に見せるカタログとして作成したもので、今回は主に江戸時代のものに焦点をあてました。

カラー口絵「菓子雛形極彩色数品」(ボストン美術館所蔵)

海を渡り外国の美術館に収蔵された見本帳もありました！ボストン美術館の日本美術のコレクションに含まれていた見本帳を、全頁カラーで掲載させていただきました。菓子の数は全282点。意匠や菓銘の簡易な解説付です。

豊かな色彩や変化に富んだ菓子の形は、眺めるだけで楽しいものがあります。鉢植えの植物をかたどった有平糖(飴菓子の一種)細工など、凝ったデザインにも注目です。



○紀州徳川家御用菓子商・駿河屋伝来の絵手本について

山下 奈津子(和歌山市立博物館学芸員)

紀州徳川家の御用をつとめた駿河屋(和歌山県)は、藩主の命を受け、豪華な落雁をはじめとする美しい菓子を作ったことで知られ、それらの木型や絵手本(見本帳のこと)が現在に伝わっています。このうち江戸時代から残る絵手本11冊(和歌山市立博物館蔵)を取り上げ、各絵手本の形状や内容の特徴をまとめられました。

○近世虎屋菓子見本帳に関する一考察

森田 環(虎屋文庫)

元禄8年(1695)を最古とする、虎屋の近世の見本帳17冊について考察しました。実は現在、国立国会図書館をはじめとする外部機関に、虎屋の見本帳から絵図を写したと思われる帳面が収蔵されています。虎屋が得意先や関係者へ渡したものを引き写したと想像され、それだけ貴重な、あるいは魅力的な史料だったことがわかります。

○菓子見本帳翻刻

「蒸餅干菓子雛形」(虎屋文庫蔵):白黒で全頁掲載。羊羹、饅頭、落雁をはじめとする幅広い種類の菓子全 381 点が載った見本帳です。他機関に同本・類書が多くあり、前述の駿河屋や、幕府御用をつとめた金沢丹後の菓子との共通性も見えます。

○菓子見本帳所蔵機関一覧

閲覧が難しいと思われがちな見本帳ですが、近年は所蔵資料をサイト上で公開している図書館や博物館なども多く、インターネット上だけでもかなりの数を見ることができます。そういった WEB 公開の有無も含め、全国各地の見本帳情報をまとめました。研究者に限らず、興味のある方すべてにお役立ちの情報です。

和菓子研究

○東海地域の産業から見た菓子文化の歴史民俗学的考察 遠山 佳治(名古屋女子大学短期大学部教授)

東海地域の菓子文化を、農業、水産業、醸造業、観光業など産業に絡めて考察されました。一般的には米粉が使われる柏餅などの葉包みの菓子が、東海地域では主に小麦粉で作られることや、八丁味噌やたまり醤油といった特産物を用いた菓子の存在など、地域性を指摘されています。

虎屋の御用記録の翻刻

前号に引き続き元禄 13 年(1700)「諸方御用留帳」(虎屋黒川家文書)の翻刻を掲載。元禄 16 年 3 月から宝永元年(1704)11 月までの記事となり、菓子の数や重箱の代金について、御所とやり取りした興味深い記録もあります。

購入方法

FAX・E-mail にてご注文ください。一般には流通しておりません。通信販売にて承ります(送料実費)。

バックナンバーも販売中 〈 価格 19・22～26 号 1,000 円、他は 900 円(いずれも税込) 〉

各号特集タイトル ※創刊号～4、6、13～14、18 号は完売しました。

5 号 和菓子原材料の現在	12 号 唐菓子	21 号 贈答と菓子
7 号 歴史資料と和菓子	15 号 菓子道具	22 号 地域資料に見る菓子
8 号 外来食文化と和菓子	16 号 武家社会と菓子	23 号 あめ
9 号 九州	17 号 江戸と菓子	24 号 近代と菓子
10 号 民俗と菓子	19 号 菓子史料コレクションから見えるもの	25 号 藩と菓子
11 号 菓子とまじない、占い	20 号 羊羹	26 号 和菓子作りとその周辺

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-9 赤坂 MK ビル 2 階

株式会社 虎屋 虎屋文庫

電話 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

URL: <https://www.toraya-group.co.jp/>

E-mail: bunko@toraya-group.co.jp